利用者の理解者としての生活支援員　～藤村圭生活支援員～

【職員紹介】

藤村圭　生活支援員

所属：障害者支援施設　かたくり
採用：平成３１年度採用
仕事内容：利用者の生活支援

【入社のきっかけ】

Q　福祉の仕事に就くにあたってのきっかけはなんでしたか？

A　岩手県社会福祉事業団に入る前は児童に関わる職業を目指していましたが、自分の進路について改めて考え直す機会をつくった際、事業団の施設で児童と関わる仕事を知り、岩手県社会福祉事業団の運営している施設で働きたいと思いました。

【仕事について】

Q　今の仕事をする上でのやりがいはなんですか？

A　一日の業務の中で、利用者の方が怪我や病気、事故等が無く、健康で過ごす日を提供できたときに、生活支援員としての責任を果たせたと感じます。

Q　仕事を通して身についたことはなんですか？

A　入社して間もないころに、指導してくださった先輩の方から「報告」「連絡」「相談」の重要性と確実に行うことの指導を受け、入社して４年目の今、これらが習慣化されていると感じています。

Q　障害者支援施設で利用者の方と接するにあたって心掛けていることはなんですか？

A　利用者の方は、それぞれ障害を持っており、障害の影響による様々な行動（障害特性）が見られます。一人一人の状態や行動を把握し、事故につながらないよう、安全に支援することを心掛けています。

【就活アドバイス】

Q　就活のときに意識しておくこと、やっておくべきことはなんですか？

A　専門的な勉強をすることも大事ですが、インターンシップや実習、ボランティア活動に参加したりと、様々な経験を通して視野を広げていくことが大事だと思います。

インタビュー＆記事作成：令和４年度インターンシップ　盛岡大学　文学部　日本文学科　小山田凜